

## 1

## 「2025年ダイバーシティ推進に関する意識・実態アンケート」 報告書公開！

本学では2023（令和5）年度より毎年、全職員を対象とした「ダイバーシティ推進に関する意識・実態アンケート」を実施しています。今年度も日々の業務でご多忙のなか回答率27.3%のご回答をいただき、改めて御礼申し上げます。

「本学のダイバーシティ」に関する設問では、全項目において、当初約3割程度であった認知度が5割以上に向上しました。特に、ダイバーシティ推進本部およびダイバーシティ推進センターの認知度は7割を超え、加えて、ダイバーシティ推進センターが「相談窓口」として認識される割合も向上する結果となりました。

「今後のキャリア」に関する設問では、大学において「本学でキャリアを継続したい」と回答した割合が昨年に引き続き増加しました。一方、大学病院、茨城、八王子では微減となりました。

「仕事を続けていく上で支障となること」に関する設問では、2023年最も多かった「出産・育児」が3番手となり、2024年に引き続き「介護」が最も多くを占めました。「介護」に関する課題は増加傾向にあることが明らかになっています。

今年度は、介護に関する設問を多く設けましたが、現在、介護を必要とする家族がいる割合は全体の25.3%、また、自身が介護を行っている割合は28.0%

でした。その一方で、本学における介護支援制度については、約6割以上の方が「認知していない」と回答しており、制度周知の課題が浮き彫りとなりました。

「仕事と介護のバランス」に関する設問では、性別に関わらず、約7割が「仕事に専念したい」「仕事と介護と両立したい」と回答しました。この結果から、育児と同様に、介護との両立を支援する制度の一層の充実が喫緊の課題であることが示されました。

また、「介護休業・休暇を取得しやすくなる仕組み」に関する設問では、育児休業と同様に、代替要員などの「人材確保」に加え、取得しやすい環境づくりに向けた「職場の理解」が重要であるとの意見が多く寄せられました。

ダイバーシティ推進センターでは、本学の介護支援制度についてご案内しております。介護に関してお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。

なお、本アンケートの調査報告書（概要版・全体版）はダイバーシティ推進センターHPにて公開しております。ぜひご覧ください。



## 2 「2026年度研究補助者配置制度」採択者6名が決定！

10月1日から11月30日に募集した「2026年度研究補助者配置制度」について、今年も定員数を上回る多数のご応募をいただきました。募集要項に掲載された採択基準に基づき、審査の結果、6名の採択者が決定いたしました。

本制度は、妊娠、出産、育児、介護、不妊治療などのライフイベントにより研究時間の確保が困難な研究

者に対し、週2日研究補助者を配置することで、研究活動の継続と発展を支援する事業です。論文作成や研究費獲得など、研究成果の創出を目的としており、これまで多くの研究者が本制度を活用し、着実な業績向上につなげています。

本制度にご興味のある方は、ぜひダイバーシティ推進センターまでお問い合わせください。



ダイバーシティ推進センターでは、出産・育児・介護などのワークライフバランス、将来のキャリアプランや研究活動、ジェンダーに関することなどのご相談を受け付けております。どこに相談したらよいかわからない時は、センターHP相談窓口フォームより、お気軽にお問い合わせください。

